

インフラ長寿命化計画（行動計画）

平成 29 年度～平成 40 年度

平成 29 年 10 月

岩手・玉山環境組合

1 対象施設

本計画においては、当組合が管理・所管しているインフラを構成する各施設のうち、重要性等の観点から計画的な点検・診断、修繕・更新等の取組を実施する必要性が認められる以下の施設を対象とする。

No.	施設分類	施設名称
1	廃棄物処理施設	ごみ焼却施設
2	廃棄物処理施設	粗大ごみ処理施設
3	廃棄物処理施設	リサイクルセンター及びストックヤード
4	公衆浴場	平森保養センター（余熱利用施設）
5	火葬施設	岩手・玉山斎場 浄霊苑

2 計画期間

本計画の計画期間は、平成29年から平成40年の12年間とする。

なお、取組の進捗状況、情報や知見の蓄積状況等を踏まえ、適宜、計画を見直すものとする。

<計画期間>

平成29年（2017年）～平成40年（2028年）

3 対象施設の現状と課題

当組合が保有している対象施設の概要は以下のとおりである。

No.	施設分類	施設名称	延床面積 (m ²)	竣工 (代表建物)	構造 (代表建物)
1	廃棄物処理施設	ごみ焼却施設	2,905	平成9年	鉄筋コンクリート造
2	廃棄物処理施設	粗大ごみ処理施設	795	平成9年	鉄筋コンクリート造
3	廃棄物処理施設	リサイクルセンター（ストックヤード含む）	1,099	平成12年	鉄筋コンクリート造
4	公衆浴場	平森保養センター	162	平成10年	木造
5	火葬施設	岩手・玉山斎場 浄霊苑	120	昭和57年	鉄筋コンクリート・木造

※ 竣工年等は当該施設の代表建築物等について記載

現在、当組合が保有している対象施設は、廃棄物処理施設が 3 施設、公衆浴場施設、火葬施設の合計 5 施設である。

建築後の経過年数をみると、どの施設も利用開始から 30 年近くもしくは 30 年以上経過しており、築年数が相当程度経過している施設については、今後必要に応じて施設更新や大規模改修を検討する必要がある。現在は毎年度定期的な修繕を行い施設運転を行っている。

ごみ焼却に関しては、周辺地域のごみ処理広域化の動きがあるため、そちらの動向を確認しながら施設更新等を検討する必要がある。

4 中長期的な維持管理・更新等のコストの見通し

現在保有している対象施設の維持管理・更新する場合に必要な今後 13 年間の更新費用について試算したところ、総額で約 14 億円になると推計される。この推計額は現状の施設を維持管理で使用していく場合の推計額であり、大規模更新を想定しない場合の額である。詳細なコストの見通しについては、今後策定する個別施設計画において、対策費用などの必要な情報を整理したうえで、コストの見通しを明示する。

5 必要施策に係る取組の方向性

「3 対象施設の現状と課題」及び「4 中長期的な維持管理・更新等のコストの見通し」に照らし、以下の取組を進める。

(1) 点検・診断等の実施方針

施設や各種設備機器等の日常点検をはじめ、定期点検や診断を継続的に行い、点検・診断を通して得られた履歴を蓄積することで、今後の維持補修・管理計画等に活用する。

(2) 維持管理・修繕・更新等の実施方針

施設の点検結果を踏まえ、計画的に維持管理・修繕・更新等を行う。

修繕の緊急性や必要性等を考慮して、計画的に修繕、更新を行うことができるよう、修繕の緊急性や必要性等を考慮した優先順位をつけ、維持管理・修繕・更新等に必要な費用の縮減・平準化に努める。

(3) 安全確保の実施方針

施設における安全確保を図るため、法令に基づく施設及び各種設備の点検・診断を継続的に実施する。今後も、点検・診断により危険性が確認された設備については、直ちに対応する。

(4) 耐震化の実施方針

廃棄物処理施設は、住民生活の基盤を支えるものであり、災害時においても業務継続が必要不可欠であることを踏まえ、施設の在り方や耐震化について検討する。

(5) 長寿命化の実施方針

当組合が所管・管理する対象施設について、本計画に基づく個別施設計画を策定し、計画的に維持管理、修繕、更新等を行う。

6 フォローアップ計画

本計画を確実に実行するために、計画の進捗状況や実施効果を確認・検証し適切にフォローアップを行う。

また、本計画の内容は、財政状況や財産管理状況等の変化に応じて、随時見直しを行う。